

暮らしやすい地域づくり

移住者
受け入れ地域に
インタビュー

原田さんご家族（川原）

近年、日野町の人口は減少し続けています。その一方で、この町に魅力を感じて移住される人達があります。また、コロナ禍でテレワークが普及し、職場の近くに住んでいなくても仕事が可能になったことから地方移住への関心が高まっています。これからの時代、新たに町に移住する人達を受け入れ、ともにより良い町・地域づくりを進めていく必要があります。

今回、日野町に移住された方、移住の際にお世話になった集落の方にお話をうかがいました。

お住まいの地域に移住者を受け入れる際は、ぜひ参考にしてみてください。皆さんの言葉には誰もが暮らしやすい地域づくりのヒントがあると思います。

川原



移住

原田^{はらだ}
拓哉^{たくや}さん
まみかさん

移住する際、自治会でやるべきところが想像できず不安でしたが、事前に詳細な説明をしていただき、入居までにある程度の想像はできるようになっていました。また、地域の皆さんと顔を合わせる機会をいただき温かく迎え入れてくれたので、一番

心配していた人間関係の不安もすぐに解消されました。私達も積極的に関わろうにし、良い関係を築けています。

移住する側は、地元の人が歴史や文化、土地を守っているからその地域が成り立っているということを理解し、積極的に自分もその一員となり楽しむ余裕が必要だと思っています。

以前の私達は自治会の役割や重要性を理解できていませんでしたが、今は川原の皆さんに自分達が暮らす場所や伝統を守っていくすばらしさを教えてもらいました。

他の地域で移住者を受け入れる際には、全員に顔を合わせる機会や、慣れるまでの間の相談役がいてもらうと、移住者と地域がお互いになじみやすくなると思います。



地元



奥村^{おくむら} ともゆき^{ともゆき} さん

久しぶりに新たに入居される方だったので、とても歓迎していました。

入居されるまでの期間に、地域行事に招待したところご参加いただき、集落に溶け込んでもらう良いきっかけになったと思います。また、集落の方々が親交を深めようと、自発的にスイカや野菜の差し入れをして交流が図られていました。原田さんも積極的に地域になじもうとしてくれたのでありがたかったです。

移住者を受け入れる集落としては、協議費や年間の行事などを入居されるまでにしっかりと納得できるように説明する必要があります。あとは親睦行事などで関係を深めるきっかけが重要だと思います。

川原集落には「和のこころ明日の川原を築くもと」という指標があります。毎年の役員はこれを達成できるように心がけています。

西明寺



移住



小林 さん
将 さん
朋代 さん

西明寺の景色や自然に囲まれた環境が気に入りに、移住を決めました。

移住してからは、集落の皆さんが声をかけてくれたり、できた野菜をわけてくれたりと、温かく見守ってくれているのが伝わってきます。

米作りをしたいという思いを知って、営農組合の方々が協力してくださり農業体験をさせてくれるなど柔軟に自分達の思いをくみ取ってくたさいます。

営農組合の方から「ずっと住んでいる人がここを守っていくのは当然だけど、若い人が入ってきたときにいかに融合するか、拒絶せずに意見を交換することを大切にしている」という話を聞いて、自分達の意見や思いを尊重してくれてありがたいと思いました。

うまく移住生活を開始するには、1、2年くらいのお試し移住や既に移住してきた人とつながれる機会があれば不安も解消されていくと思います。



地元

塚本 信雄 さん

移住者やその友人が集落に来てくれて地域が明るくなりました。

移住者を受け入れるときは強制しないことを心がけています。まずは西明寺のことを知ってもらうことが重要です。行事や総出の話はしっかり丁寧に説明します。協議費についても内訳を説明して、なぜ必要なのか理解してもらう必要があります。また、お試し期間として、半年から1年は協議費を集めていません。

難しいのは関わる距離感です。やり過ぎると相手の負担になるし、関わらないのもおかしい。相手との距離感をつかむには集落の行事に来てもらってお互いを知ることが大切です。

私達は参加しやすい雰囲気をつくって、何か相談や話があったときにいつでも受け入れられる体制をとっておこうと思っています。「とにかくわからないことや困ったことがあれば遠慮せず聞いてほしい」と伝えています。

また集落内に空き家ができれば放置せず、町の空き家バンクに登録するように集落で取り組んでいます。

石原



地元



地域おこし協力隊
インターン生を受け入れ

石原区長 竹村 吉正 さん

地域おこし協力隊インターン生の受け入れは、地域の活性化につながる大きなチャンスとしました。皆さんと協力して地域を盛り上げていきたいと思っています。

インターン生を地域に受け入れる際はまず集落の何人が良い人間関係を築く必要があると思いました。皆さんは私達にない感覚を持っているので、良い人材が来ていただいたと思っています。

当初、集落内では何者やという感じでしたが、インターンの集大成として行われたガレッジセールが良い交流のきっかけとなりました。

これからもっと集落の中から積極的に関わって協力してくれる人達が増えれば、地域がより良いものになっていくと思います。

